		男子ホック	<b>7</b> —	第3[	回ア	ジ	ア:	チャ	ンヒ	<b>二十</b>	ンズトロ	フィ			
日 付 2013年11月10日 15:00~16:20															
				各務原				天 候			雨				
Ē	式台	<u> </u>	勝戦					算結身	ŧ						
Country								_T_		•	Country				
		日本	日本		Full Time <b>1</b>		- 3			パキスタン		タン			
JAPAN				Half Time	e <sup>1</sup>	1 -	-	0		PAKISTAN		AN	_		
Minute				GREEN YELLOW RED		ΞD	Ν	<b>M</b> inute	Shrit#		Name	\	GREEN	YELLOW	RED
<b>/</b>	1	高瀬克也(GK)		++-			ŀ		1	IMRAN SHAH(GK)					
<b>'</b>	3	粥川幸司(C)	)	++-			L	19	2	AAMIR SHAHZAD					
<b>/</b>	4	小野知則					H	4	3	MUHAMMAD KHALID  MAHMOOD RIZWAN JUNIOR					
6	6	河内伸仁					L	<b>/</b>	4						
	7	森嶋彬(GK)					L	<b>/</b>	<del> </del>						
<b>/</b>	8	塩川直人					L	<b>/</b>	6		SHID MEHMO				
<b>/</b>	10	中山康大					L	/	8		FQAT RAS				
<b>/</b>	11	川上啓					L	/	9		JL HASEEM				
<b>/</b>	12	藤本一平					L	/	10		AMMAD RIZ				
~	14	長澤克好					L	~	12		RAN BUTT(				
<b>'</b>	15	山下学					L	<b>/</b>	14		AMMAD TO				
<b>'</b>	16	畠山学				L	<b>/</b>	15	MUHAMMAD UMAR BHUTTA						
4	18	井島光希				L	13	16	_						
4	20	川上良平				L	23								
4	29	山部晃嗣					<b>/</b>	19	MUHAMMAD IMRAN(C)						
4	30	吉原平太					L	<b>/</b>	20	SYED KASHIF SHAH					
<b>/</b>	32	橘敏郎				L	25	21		MMAD FAISAL					
							16 23 AMMAD SHAKEEL BUT								
Coa	ach	姜建旭						Coach TAHIR ZAMAN							
	lanager						Ţ		am Manager AJMAL KHAI						
UMF	PIRE	Lingam Karupusamy(MAS)					L	UMPIRE .			Jang J	ang Jung Min(KOR)			
										1					
Team				Score			_		Minute		Name	Action		Score	
JPN	11	川上啓	FG	1-0			Ľ	PAK	65	AMMAD	SHAKEEL BUTT	PC		1-3	
PAK	40	MUHAMMAD RIZWAN	FG	1-1			L								
PAK	61	ABDUL HASEEM KHAN	FG	1-				Lot	·wh _ L =						
(日プの得後後サ左にし攻めパード)はをです。 ちょうしょう はいれい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい かいがい はいかい はいか	日本はこの試合予選リーグのように守備的ではなく、勝ちにいくために積極的なプレスで戦うことを確認し試合に臨んだ。パキスタンも日本と同様に積極的なプレスをかけ、前半から互いの攻守の切り替わる戦いとなる。日本はパキスタンの立ち上がりの攻撃を防ぐと、11分レフトから川上啓がサークルインし、橋へのパスアンドランから再びボールをもらうと、GKの手前でワンタッチシュートを決め日本は先制点を奪う。その後パキスタンが何度かシュートまで持ち込むが、得点を奪うまでには至らず、前半は1-0の日本リードで終了。  (後半) 後半立ち上がりの36分、日本はパキスタンに2連続でPCを奪われてしまうが、1番騎の山下が連続でブロックし得点を与えない。40分パキスタンはレフトからサークル中央の手前にパスを通すと、最後は縦パスから一瞬の動きでマークを外し、フリーでボールを受けたMUHAMMAD RIZWANがヒットシュートをゴールを下に決め、遂にパキスタンは同点に追い付く。両者追加点を奪うべく、47分には日本が、56分にはパキスタンがからPCを取得するが、お互いた必がで守り得点を奪えない。61分パキスタンはライトからセンタリングを通すと、GK高瀬のリバウンドを拾ってシュートを放つと、最後は足元のこぼれ球を押し込み逆転する。更に64分パキスタンはライトからサークルに侵入するとPCを取得。これをバリエーションから決め、3点目を奪う。日本は最後まで諦めずに攻め込むが、このまま1-3で試合終了。日本は苦しい時間帯をハードワークで凌ぐと、カウンターアタックから何度か決定的なシュートチャンスが訪れたが、決めきることができず前半の1点のみに抑えられた。パキスタンが大会2連覇を果たし、第3回アジアチャンピオンズトロフィーを終えた。なおこの大会で、日本チームはフェアブレー賞、GK高瀬がベストGK賞を受賞した。														
•									日本		シュート		15	パキス	スタン
										1	PC数 ままなまで		4	-	.,,,